

土づくり研修会

(土壌医検定3級対策講座)

(全4回)

近年、肥料が多様化する中で、土づくりに関する基礎知識はより重要になってきました。そこで、土づくりに関する基礎知識を学び、「土づくりアドバイザー（土壌医検定3級）」の取得を目指すための研修会を下記のとおり開催します。

日時

2017年11月17日 19:00-20:30
12月4日 19:00-20:30
2018年1月12日 19:00-20:30
1月19日 19:00-20:30
1月26日 19:00-20:30

場所

板東南ふれあいセンター

〒779-0223 徳島県鳴門市大麻町川崎 394

参加費 無料

但し、テキスト代 3,942円

(参考) 土壌医検定ホームページ

<http://doiken.or.jp>

準備打ち合わせ

検定概要

受験申請手続きについて
学習の進め方等について

第1回

作物の生育に及ぼす栽培環境と適地生産
作物の健全な生育と土壌環境

第2回

作物生育と土壌の化学性、物理性、生物性

第3回

作物の生育障害
土壌・施肥管理

第4回

主要作物の施肥特性と施肥管理
土壌診断の内容と進め方

主催

特定非営利活動法人
れんこん研究会

土壌医検定の概要

土壌医検定とは

近年、野菜を中心として養分バランスの崩れによる生育障害や連作障害等の改善やコスト低減の観点から土壌診断による適正施肥が重要な課題となっています。

しかし、公的機関を中心として土づくりについてアドバイスや指導をできる人材が少なくなってきました。

このような現状を改善し、土づくりのアドバイスや指導を担う人材を多く確保するために、日本土壌協会では、土づくりに関心を有する人達の底辺を広げ、段階的にレベルアップしていけるような3試験区分の検定試験を実施しております。

試験の名称は、作物生育の健全性を維持するために土壌診断を通じて改善を行う専門家という内容から見て『土壌の医者』と言えることから「土壌医検定試験」と命名しております。

試験合格後は、当協会へ登録していただくことにより「土壌医」等の資格の名称が使えます。また、資格登録者のレベル維持・向上のための研鑽とともに、人的交流の場として地域土壌医の会の組織化等を推進しています。

検定区分・試験内容等

資格名	土壌医	土づくりマスター	土づくりアドバイザー
区分	1級	2級	3級
レベル	土づくりについて高度な知識・技術を有し、また、5年以上の指導実績又は就農し土づくりに取組んできた実績を有する者で、処方箋作成とともに施肥改善、作物生育等改善の指導ができるレベルにある者。	土づくりに関しやや高度な知識・技術を有するとともに、土壌診断の処方箋を作成できるレベルにある者。	土づくりに関する基礎的な知識・技術を有し、土づくりアドバイザーとして対応できるレベルにある者。
試験回数	年1回	年1回	年1回
試験方法	学科試験+記述試験 +業績レポート	学科試験	学科試験
受験資格	土づくり指導または 就農実績5年以上	問わない	問わない
出題範囲	2級レベルの知識に加え、作物生育との関係での土壌診断と対策（処方箋）の指導ができる知識と実績	3級レベルの知識に加え、施肥改善の処方箋が作成できる知識	土づくりと作物生育との関係の基礎知識
学科試験 問題数	・マークシート方式 4者択一 50問（配点50点）	60問	50問
回答方式	・記述式問題（配点25点） ・業績レポート（配点25点）	マークシート方式 4者択一	マークシート方式 3者択一
合格目標	100点中70点以上	60問中40問以上正解	50問中30問以上正解
受験料	10,000円	6,000円	3,000円
資格登録	6,000円		